

GREEN RADAR

Vol.486
2019

11

Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・JA生産資材店舗・物流改善支援について
- ・LPガス小売事業強化における利用拡大の取組み



自己改革の進捗状況について

4～6

A-Reports

- | | | | |
|-----------------------------|---|--------------|----|
| ・コープデリ連合会との産地研修・交流会を実施 | 7 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」 | 8 | ・11月の動き | 10 |
| ・県産レタスを使った「カットレタス」を販売 | 8 | ・11月のラジオ番組表 | 10 |
| ・「アルプスロードはたSS」に山雅デザイン洗車機登場! | 9 | ・編集後記 | 10 |
| ・第2回SSマネージャー全体会議 | 9 | | |



©松本山雅FC



©松本山雅FC



生産資材課

J A 生産資材店舗・
物流改善支援について

【農家戸配と店舗販売】

J A 生産資材事業の収支改善には、「売り上げを伸ばす」「適正な仕入れ」が重要ですが、事業に係る管理コストを削減することも重要な要素です。J A での生産資材の販売は、注文をいただいた商品を自宅や納屋まで配送する「農家戸配」と J A ファームなどの店舗で接客販売する「店舗販売」があるため、この効率をいかに上げるかが課題となります。

そこで J A 全農長野では、J A の協力を得て、J A 生産資材事業の収支改善の一助となるよう農家戸配に係るコスト調査や J A 店舗に係る簡易商圏の調査を行っています。

【農家戸配】コストの把握＝

【物流実態調査】

物流に係るコストは、一般的に「第 3 の利潤源」と言われほど改善が必要な部分です。特に J A 生産資材事業では農家戸配が多いため改善が必要と言

えますが、配送コストは外部委託をし

ていない限り、ほかの業務コストに紛れてしまい目に見える数字として表れないことが多いのです。しかし、コストがわからなければ、効率化の検討や管理ができません。そこで、J A とのヒアリングを通して業務やコストを細分化し、配送に係るコストを可視化していく作業が「物流実態調査」です。

物流実態調査を実施することにより、配送に「どのくらいのコスト」が「どの部分」にかかっているのかが明らかになるため、より具体的な改善案を検討することができます。（図 1）

【簡易商圏分析】

「ハフモデルによる分析」について

J A の店舗は、昔ながらの資材店から農業資材専門店の J A ファームなど様々な形態をとっていますが、再編による効率化を検討する際にどのような基準で行うかが課題となります。そこで、全農長野ではハフモデルを使った

簡易的な商圏調査で再編のシミュレーションを行っています。

ハフモデルはアメリカで開発された商圏調査の考え方で「消費者は近くより大きな店舗へ向かう傾向がある」ことを前提として、店舗によってどのくらいの集客が見込めるかをシミュレーションするものです。簡易的なものとはなりますが、既存店舗の需要分析、新規出店に係る需要分析、支所統廃合にかかわる資材店舗の需要分析が可能であり、再編の参考値として J A に利用していただいています。（図 2、3）

【今後の取り組みについて】

現在、J A では経済事業改革が進められ、生産資材事業についても急ピッチでの改革が求められています。全農長野としても、前述のような調査による支援や系統物流の最適化を進め、J A 生産資材店舗・物流改善のお手伝いをしていきたいと考えています。

図 2：ハフ分析（ハフモデル）とは

ハフ分析とは「消費者が、ある店舗で買物をする確率を求めるもの」です。

この確率は「消費者は大きな店舗へ足を向けやすい。但し、近い方が良い」という傾向を元に考えられています。

このハフ分析を使用し、任意のお店に消費者が買い物に出かける割合（お店側が消費者を引っ張り込む割合＝「吸引率」）を、他のお店との競合状況などを考慮し、求めるものとなります。

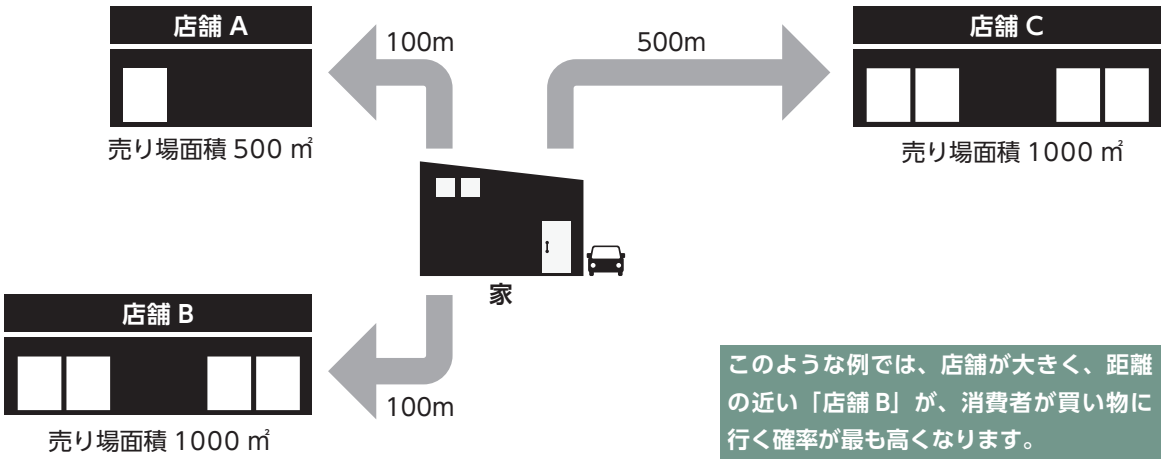


図 3：分析結果

JA 〇〇 〇〇地区 簡易商圏調査結果一覧表									
店名	シミュレーション結果（推定需要配分金額：単位千円）								
	既存店舗の需要分析			新規出店による需要分析			支店集約と新規出店		
	想定需要	営農	一般	想定需要	営農	一般	想定需要	営農	一般
JA 支店 A	14,946	14,442	504	13,350	12,853	497			
JA 支店 B	14,946	14,442	504	13,350	12,853	497			
JA 支店 C	14,946	14,442	504	13,350	12,853	497			
JA 支店 D	14,946	14,442	504	13,350	12,853	497			
JA 支店 E	14,946	14,442	504	13,350	12,853	497			
A 店	45,241	18,627	26,614	41,801	16,062	25,739	42,216	16,085	26,131
B 店	45,224	36,264	8,960	34,053	25,401	8,652	34,509	25,745	8,764
C 店	95,603	86,433	9,170	44,430	35,547	8,883	44,902	35,900	9,002
D 店	72,540	29,882	42,658	63,038	21,766	41,272	64,274	22,407	41,867
E 店	35,812	26,509	9,303	14,607	5,612	8,995	15,056	5,970	9,086
F 店	68,051	28,032	40,019	59,874	21,171	38,703	61,001	21,710	39,291
G 店	57,257	20,640	36,617	57,514	22,108	35,406	58,441	22,517	35,924
JA 新設店				112,143	106,375	5,768	174,117	168,272	5,845
総計	494,457	318,596	175,861	494,209	318,306	175,903	494,516	318,606	175,910
JA 計	74,730	72,210	2,520	178,893	170,640	8,253	174,117	168,272	5,845
備考 (前提条件等)	(1) 推定需要は①販売農家の作付面積（水稻・野菜・果樹）当たりの資材費（購入）から算出した金額 ②非販売農家戸数× 20,000 円を合算したものを営農需要としている。								
	(2) 営農需要：店舗当用供給での実績を推定するため、 JA の予約供給金額（予約分）及び一般商店の配送分（需要 25%）を差し引いている。								
	(3) 予約供給金額：予約率を 75% とし、購買実績を農家戸数で地域に分配した。								
	(4) 一般需要：1 世帯当たり 7,000 円で試算した。金額は消費統計より決定した。								

図 1：物流に係るコスト

分類	内容
物流人件費	本店・支店担当者が物流業務に携わっている割合を調査
	職位別（管理職、一般職、パート等）の平均人件費を調査
配送費	JA 所有車両のうち戸配送に使用している車両に係る費用および使用状況を調査
	配送を外部委託している場合、戸配送のために支払った運賃を調査
保管費	JA 所有倉庫のうち戸配送に使用している倉庫に係る費用および使用状況を調査
	JA 所有物流機器のうち戸配送に使用している物流機器に係る費用および使用状況を調査
	倉庫作業等を外部委託している場合、戸配送のために支払った作業料を調査
	戸配送対象品目の棚卸実績と JA 内部利息を調査
情報システム費	戸配送業務に係る情報システム費と部門別利用率を調査
その他費用	事務所に係る費用（保安警備費用等）を調査
戸配送対象品目実績	戸配送対象品目の年間実績を調査

燃料・ホーム
エネルギー課LPGガス小売事業強化における
利用拡大の取組み

JA-LPGガス事業を取り巻く環境は、電化や他業者からの攻勢に晒され、厳しい状況に置かれています。

2016年に電力が自由化されて以降、それまでガスを扱っていなかった電力会社のガス事業参入や、既存のガス事業者の電力取扱い開始により、セットプランでの顧客の獲得を狙う動きが激化しています。

このような情勢の中で、JAのLPGガスを継続的にご利用いただくために顧客満足度を向上させることが重要な課題となります。

その取組みの一環として「ガス器具経年ダイレクトメール」の発送が挙げられます。これは、10年以上同じガス器具をご使用のお客様に対して使用年数をお知らせし、無料点検をさせていただくことで安全にガス器具をお使いいただくための啓蒙活動です。また、告知欄に展示会の日程や最新のガス器具を掲載することで、実際に機能性が向上したガス器具に触れてもらう機会も

ご紹介しています。

また、ガス器具をご購入いただいたお客様に対してお礼のはがきを送る活動も行っています。はがきの内容は、ガス器具を使用されている感想やご意見を汲み取るためのアンケートになっており、その後の営業活動の改善に役立てるものです。アンケートを返送いただいたお客様には抽選でまごころ商品券をプレゼントする企画も行っています。昨年は送付件数591件の内256件のご返信をいただき、大変好評でした。LPGガス事業環境は今後も厳しさを増していくと想定されますが、より一層顧客満足度の向上を図るよう、事業を展開して参ります。



ガス器具 ご使用年数のご案内

日頃は、JAのLPGガスをご利用いただき、誠にありがとうございます。お客様にLPGガスを安心・快適にご利用いただくため、お使いになっているガス器具の使用年数をご案内させていただきます。

器具	型式	製造年月	使用年数

【すでに、上記ガス器具からお取り替えがお済みのお客様へ】
今日のお知らせは、前回の保安点検情報を元に、JAが管理する2018年4月時点のデータに基づきご案内させていただきました。本案内が行き違いとなり、誠に申し訳ございません。

- ガス器具の寿命はお手入れや使用頻度によって異なりますが、概ね設置から7～10年を経過すると使用効率が低下することがあります。
- また、部品などの劣化により、故障や安全性を損なってしまう事故の原因となる場合があります。
- 劣化する点がございます。無料点検いたします。お気軽にお申し付けください。

おうちのエネルギーは、お問合せ・ご相談は裏面記載のJAガスセンターへどうぞ！

ガス給湯器 [エコジョー] についてご案内です！

- 1 熱を無駄なく活用、ガス代13%カット！
- 2 燃料切れの心配なし！
- 3 灯油ボイラのような臭い・音もなし！

このキャンペーン期間中に、ぜひ買い替えをご検討ください！

洗濯機のお悩み… ガスの衣類乾燥機 乾太くん で解決できます！

- 1 あっという間の乾燥時間
電気式 162分
ガス式 52分
服も乾きます、朝の急な乾燥も可能です！
- 2 生乾き臭を大幅カット！
天然ガスでも消臭しない臭い電熱式！
※生乾き臭の原因となるラジエーターの減少率99.9%
- 3 ガスならではの経済性！
1回たったの63円※
※実用年数5000時間を標準モードで稼働した場合です。(メーカー調べ)

ふっくら具合にこれだけの量！

コインランドリーでもガスの乾燥機が使われています！

天日干し 約18cm
乾太くん 約15cm
全自動洗濯機乾燥機 約15cm
乾太くん 約15cm

2019年度向けガス器具経年劣化告知ダイレクトメール

JA改革
自己改革の
進捗状況について

全農長野県本部は、JAおよび子会社とともに、JA自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んでいます。

I. 【中期事業計画における基本目標】2019年9月末時点での総括

その1 ▼ 積極的な生産振興に基づく農業生産基盤の維持強化

- (1) マーケットインを起点とした生産振興を推進し、農業経営基盤強化策の提案やJA営農技術員のサポート体制を整え、生産規模の維持拡大に取り組んでいます。
- (2) 生産安定と収量増を目指した施設化をすすめることに、災害に強い農業や最先端農業機械等の導入に取り組んでいます。

その2 ▼ 販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化

- (1) 総合品目による安定供給体制の推進と卸売会社等との連携強化をすすめたほか、付加価値を高めた商品提案に取り組んでいます。
- (2) 資材の規格・原材料集約をすすめるとともに、農家直行配送方式の拡大による配送効率化と中古農機の流通促進による生産コストの抑制に取り組んでいます。

その3 ▼ 経済事業拠点の合理的・効率的な運営整備

- (1) 県域物流拠点の補完機能強化によるJA資材店舗・物流拠点の再編整備の提案に取り組んでいます。
- (2) 輸送の効率化による体制整備のため、パレット輸送やモーダルシフト輸送の試験実施に取り組んでいます。

II. 各事業別 2019年9月末進捗状況

【生産振興部】

実行員体系	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
1. マーケットニーズを起点とした生産振興の推進	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1) マーケットニーズに基づく品目提案	①品目の選定と生産安定技術の推進 ②多収性と労働生産性向上が望める生産技術の普及推進 ③業務加工需要に対応する産地の拡大	①産地推進 ②普及 ③拡大	①アスパラ、ミニトマトを重点品目とし、施設化等による生産安定をはかり拡大をすすめる。 ②リンゴ/高密植わい化栽培の推進。 ③業務向けキャベツ、キウリを、規格・パツ話などを設定し作業軽減による対応増をすすめる。
2. 生産安定に向けた施設化の推進	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1) 生産安定と収量増を目指した野菜類の施設化推進 ①適正な強度を備えたトレリス・平棚・ハウス・果樹多目的ネット等の設計施工と推進 ②生産安定と収量増を目指した野菜類の施設化推進 ③養液栽培などの高度技術の普及推進	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1) スマート農業推進に向けた品目選定と導入目的の選定	関係JAとの検討	情報収集とデモ実演	レポート情報発信、JAと情報を共有して取り組みをすすめる。
4. 優良種苗の安定生産推進	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1) 種苗センターにおける優良種苗の安定生産体制の強化	160万本	167万本	接木キュウリ、葉洋菜目根苗の供給増。
5. 品目別研修会の計画的開催	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1) 指導者会議専門4ブロック活動との連携	60回	31回	各ブロック、各部門ごとに実施。指導員の技術知識とモチベーション向上に取り組む。

【生産販売部】

実行員体系	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
1. 長野米営業力強化	2019年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1) 直接営業による販売比率90%達成 ①実需者への直接営業の拡大 ②重点実需者への複数年契約推進	①90% ②元年産 33,000t	①56% ②35,487t	①元年産主食うるち米出荷契約の実需者結び付9月末目標(50%)達成、引き続き集荷を推進する。 ②元年産米の事前契約(複数年契約)35,487tを達成。引き続き集荷推進をはかり品質状況の把握に努める。

【畜産酪農部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)牛乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	8,600t (284戸)	44,244t (279戸)	生産性向上対策による1頭乳量の増加をはかる。
(2)性別別精液普及	2,000本	898本	進捗率44.9%。県本部生産基盤対策及び乳代積立金10銭/kgによる対策の進捗管理。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,100頭	1,066頭	和牛生牛価格高による導入頭数減のため。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄	集荷強化により頭数確保をはかる。次年度取引に向け協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	21,800頭	11,119頭	県内外豚コレラ発生により県内事業中止から出荷頭数減。

【生活部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 農業生産用燃料支援対策の実施			
(1)軽油・灯油・重油の配達供給	18,600kℓ	4,000kℓ	J・A・県本部一体となった担い手農家支援として、軽油支援対策を4、11月まで実施し、灯油・重油支援対策を10、3月まで実施する。
2. J・AのLPGガス小売事業強化			
(1)新規顧客獲得による供給戸数確保	122,100戸	123,469戸	全J・Aにおいて販売促進企画書に基づき営業活動を展開した。今後、営業体制整備に向けた検討をすすめる、燃費・暖房推進に取り組む。
3. 電力小売推進体制の強化			
(1)組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	体制整備	先行J・A決定	先行J・Aを選定し事前準備を行った。下期推進開始に向けた研修会実施とJ・Aでんきシステム稼動により順次供給開始に取り組む。
4. J・A自動車事業の収支改善			
(1)取扱台数の拡大	2,750台	1,465台	衝突被害軽減ブレーキを装備した長野県限定車の取扱いにより営業車拡販に努めた。今後、県下統一モーターキャンペーンの展開により系統自動車事業の強化をはかる。
5. 生活事業取扱強化			
(1)推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員6,500戸 新規会員1,000戸	おまかせ会員6,076戸 新規会員2,000戸	休止会員への再開促進、『県警シニアサポート制度』への参加、地域版タブロイド紙へのPR記事・広告掲載により戸数維持・新規獲得に努めた。引き続きJ・Aと連携し戸数確保に努める。
(2)虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	9,100件 (シェア34%)	4,080件 (8月末34%)	小規模葬ニーズへの対応等に努め、施行件数確保に努めた。ネット広告の充実等PRを強化し引き続き件数確保に努める。
(3)J・Aとの連携強化による家庭菜新規戸数拡大	500戸	58戸	新規獲得キャンペーン等により戸数拡大に努めたが、配置戸数は高齢化等により減少傾向にある。今後モJ・Aと連携し戸数の確保に取り組む。

【生産購買部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 段ボール規格集約による価格値下げ			
(1)類似規格の集約化、材質・寸数の変更提案	2品目	1品目	えのきのコスト低減段ボールを採用。主産地は順次新規格に切り替え予定。主産地以外の切り替えを推進する。
2. 段ボール適正包装の提案推進			
(1)ショートフラップ化の品目拡大、撥水原紙の見直しによる過剰包装の見直し	5規格	16規格	しめじ段ボールのショートフラップ化。花き中心に撥水原紙から切り替え実施。
3. 低コスト・省力資材の開発、実証、普及			
(1)より安価なB原料への切り替え拡大	4銘柄	4銘柄	次年度試験に向けた設計・検討。
(2)農業担い手直送規格の普及面積拡大	2,200ha	3,010ha	新規箱割の伸長。取扱品目及び申し込みスケジュールの周知。
4. 担い手への提案型推進の強化			
(1)担い手への「わたしの肥料」提案推進	3,150t	3,699t	南佐久中心に伸長。畑作地帯での新規推進。

【畜産酪農部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)牛乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	8,600t (284戸)	44,244t (279戸)	生産性向上対策による1頭乳量の増加をはかる。
(2)性別別精液普及	2,000本	898本	進捗率44.9%。県本部生産基盤対策及び乳代積立金10銭/kgによる対策の進捗管理。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,100頭	1,066頭	和牛生牛価格高による導入頭数減のため。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄	集荷強化により頭数確保をはかる。次年度取引に向け協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	21,800頭	11,119頭	県内外豚コレラ発生により県内事業中止から出荷頭数減。

【生活部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 農業生産用燃料支援対策の実施			
(1)軽油・灯油・重油の配達供給	18,600kℓ	4,000kℓ	J・A・県本部一体となった担い手農家支援として、軽油支援対策を4、11月まで実施し、灯油・重油支援対策を10、3月まで実施する。
2. J・AのLPGガス小売事業強化			
(1)新規顧客獲得による供給戸数確保	122,100戸	123,469戸	全J・Aにおいて販売促進企画書に基づき営業活動を展開した。今後、営業体制整備に向けた検討をすすめる、燃費・暖房推進に取り組む。
3. 電力小売推進体制の強化			
(1)組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	体制整備	先行J・A決定	先行J・Aを選定し事前準備を行った。下期推進開始に向けた研修会実施とJ・Aでんきシステム稼動により順次供給開始に取り組む。
4. J・A自動車事業の収支改善			
(1)取扱台数の拡大	2,750台	1,465台	衝突被害軽減ブレーキを装備した長野県限定車の取扱いにより営業車拡販に努めた。今後、県下統一モーターキャンペーンの展開により系統自動車事業の強化をはかる。
5. 生活事業取扱強化			
(1)推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員6,500戸 新規会員1,000戸	おまかせ会員6,076戸 新規会員2,000戸	休止会員への再開促進、『県警シニアサポート制度』への参加、地域版タブロイド紙へのPR記事・広告掲載により戸数維持・新規獲得に努めた。引き続きJ・Aと連携し戸数確保に努める。
(2)虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	9,100件 (シェア34%)	4,080件 (8月末34%)	小規模葬ニーズへの対応等に努め、施行件数確保に努めた。ネット広告の充実等PRを強化し引き続き件数確保に努める。
(3)J・Aとの連携強化による家庭菜新規戸数拡大	500戸	58戸	新規獲得キャンペーン等により戸数拡大に努めたが、配置戸数は高齢化等により減少傾向にある。今後モJ・Aと連携し戸数の確保に取り組む。

【生産購買部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 段ボール規格集約による価格値下げ			
(1)類似規格の集約化、材質・寸数の変更提案	2品目	1品目	えのきのコスト低減段ボールを採用。主産地は順次新規格に切り替え予定。主産地以外の切り替えを推進する。
2. 段ボール適正包装の提案推進			
(1)ショートフラップ化の品目拡大、撥水原紙の見直しによる過剰包装の見直し	5規格	16規格	しめじ段ボールのショートフラップ化。花き中心に撥水原紙から切り替え実施。
3. 低コスト・省力資材の開発、実証、普及			
(1)より安価なB原料への切り替え拡大	4銘柄	4銘柄	次年度試験に向けた設計・検討。
(2)農業担い手直送規格の普及面積拡大	2,200ha	3,010ha	新規箱割の伸長。取扱品目及び申し込みスケジュールの周知。
4. 担い手への提案型推進の強化			
(1)担い手への「わたしの肥料」提案推進	3,150t	3,699t	南佐久中心に伸長。畑作地帯での新規推進。

【畜産酪農部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)牛乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	8,600t (284戸)	44,244t (279戸)	生産性向上対策による1頭乳量の増加をはかる。
(2)性別別精液普及	2,000本	898本	進捗率44.9%。県本部生産基盤対策及び乳代積立金10銭/kgによる対策の進捗管理。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,100頭	1,066頭	和牛生牛価格高による導入頭数減のため。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄	集荷強化により頭数確保をはかる。次年度取引に向け協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	21,800頭	11,119頭	県内外豚コレラ発生により県内事業中止から出荷頭数減。

【生活部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 農業生産用燃料支援対策の実施			
(1)軽油・灯油・重油の配達供給	18,600kℓ	4,000kℓ	J・A・県本部一体となった担い手農家支援として、軽油支援対策を4、11月まで実施し、灯油・重油支援対策を10、3月まで実施する。
2. J・AのLPGガス小売事業強化			
(1)新規顧客獲得による供給戸数確保	122,100戸	123,469戸	全J・Aにおいて販売促進企画書に基づき営業活動を展開した。今後、営業体制整備に向けた検討をすすめる、燃費・暖房推進に取り組む。
3. 電力小売推進体制の強化			
(1)組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	体制整備	先行J・A決定	先行J・Aを選定し事前準備を行った。下期推進開始に向けた研修会実施とJ・Aでんきシステム稼動により順次供給開始に取り組む。
4. J・A自動車事業の収支改善			
(1)取扱台数の拡大	2,750台	1,465台	衝突被害軽減ブレーキを装備した長野県限定車の取扱いにより営業車拡販に努めた。今後、県下統一モーターキャンペーンの展開により系統自動車事業の強化をはかる。
5. 生活事業取扱強化			
(1)推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員6,500戸 新規会員1,000戸	おまかせ会員6,076戸 新規会員2,000戸	休止会員への再開促進、『県警シニアサポート制度』への参加、地域版タブロイド紙へのPR記事・広告掲載により戸数維持・新規獲得に努めた。引き続きJ・Aと連携し戸数確保に努める。
(2)虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	9,100件 (シェア34%)	4,080件 (8月末34%)	小規模葬ニーズへの対応等に努め、施行件数確保に努めた。ネット広告の充実等PRを強化し引き続き件数確保に努める。
(3)J・Aとの連携強化による家庭菜新規戸数拡大	500戸	58戸	新規獲得キャンペーン等により戸数拡大に努めたが、配置戸数は高齢化等により減少傾向にある。今後モJ・Aと連携し戸数の確保に取り組む。

【畜産酪農部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)牛乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	8,600t (284戸)	44,244t (279戸)	生産性向上対策による1頭乳量の増加をはかる。
(2)性別別精液普及	2,000本	898本	進捗率44.9%。県本部生産基盤対策及び乳代積立金10銭/kgによる対策の進捗管理。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,100頭	1,066頭	和牛生牛価格高による導入頭数減のため。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄	集荷強化により頭数確保をはかる。次年度取引に向け協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	21,800頭	11,119頭	県内外豚コレラ発生により県内事業中止から出荷頭数減。

【生活部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 農業生産用燃料支援対策の実施			
(1)軽油・灯油・重油の配達供給	18,600kℓ	4,000kℓ	J・A・県本部一体となった担い手農家支援として、軽油支援対策を4、11月まで実施し、灯油・重油支援対策を10、3月まで実施する。
2. J・AのLPGガス小売事業強化			
(1)新規顧客獲得による供給戸数確保	122,100戸	123,469戸	全J・Aにおいて販売促進企画書に基づき営業活動を展開した。今後、営業体制整備に向けた検討をすすめる、燃費・暖房推進に取り組む。
3. 電力小売推進体制の強化			
(1)組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	体制整備	先行J・A決定	先行J・Aを選定し事前準備を行った。下期推進開始に向けた研修会実施とJ・Aでんきシステム稼動により順次供給開始に取り組む。
4. J・A自動車事業の収支改善			
(1)取扱台数の拡大	2,750台	1,465台	衝突被害軽減ブレーキを装備した長野県限定車の取扱いにより営業車拡販に努めた。今後、県下統一モーターキャンペーンの展開により系統自動車事業の強化をはかる。
5. 生活事業取扱強化			
(1)推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員6,500戸 新規会員1,000戸	おまかせ会員6,076戸 新規会員2,000戸	休止会員への再開促進、『県警シニアサポート制度』への参加、地域版タブロイド紙へのPR記事・広告掲載により戸数維持・新規獲得に努めた。引き続きJ・Aと連携し戸数確保に努める。
(2)虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	9,100件 (シェア34%)	4,080件 (8月末34%)	小規模葬ニーズへの対応等に努め、施行件数確保に努めた。ネット広告の充実等PRを強化し引き続き件数確保に努める。
(3)J・Aとの連携強化による家庭菜新規戸数拡大	500戸	58戸	新規獲得キャンペーン等により戸数拡大に努めたが、配置戸数は高齢化等により減少傾向にある。今後モJ・Aと連携し戸数の確保に取り組む。

2. 生産者取りの最大化に向けた販売力の強化

【畜産酪農部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)牛乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	8,600t (284戸)	44,244t (279戸)	生産性向上対策による1頭乳量の増加をはかる。
(2)性別別精液普及	2,000本	898本	進捗率44.9%。県本部生産基盤対策及び乳代積立金10銭/kgによる対策の進捗管理。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,100頭	1,066頭	和牛生牛価格高による導入頭数減のため。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄	集荷強化により頭数確保をはかる。次年度取引に向け協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	21,800頭	11,119頭	県内外豚コレラ発生により県内事業中止から出荷頭数減。

4. 集出荷機能の強化と広域的利用体制の確立

【畜産酪農部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)牛乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	8,600t (284戸)	44,244t (279戸)	生産性向上対策による1頭乳量の増加をはかる。
(2)性別別精液普及	2,000本	898本	進捗率44.9%。県本部生産基盤対策及び乳代積立金10銭/kgによる対策の進捗管理。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,100頭	1,066頭	和牛生牛価格高による導入頭数減のため。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄	集荷強化により頭数確保をはかる。次年度取引に向け協議をすすめる。
3. 県本部生産農場の機能発揮			
(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	21,800頭	11,119頭	県内外豚コレラ発生により県内事業中止から出荷頭数減。

4. 集出荷機能の強化と広域的利用体制の確立

【生活部】			
実行具体策		2019年度計画	進捗状況
1. 農業生産用燃料支援対策の実施			
(1)軽油・灯油・重油の配達供給	18,600kℓ	4,000kℓ	J・A・県本部一体となった担い手農家支援として、軽油支援対策を4、11月まで実施し、灯油・重油支援対策を10、3月まで実施する。
2. J・AのLPGガス小売事業強化			
(1)新規顧客獲得による供給戸数確保	122,100戸	123,469戸	全J・Aにおいて販売促進企画書に基づき営業活動を展開した。今後、営業体制整備に向けた検討をすすめる、燃費・暖房推進に取り組む。
3. 電力小売推進体制の強化			
(1)組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	体制整備	先行J・A決定	先行J・Aを選定し事前準備を行った。下期推進開始に向けた研修会実施とJ・Aでんきシステム稼動により順次供給開始に取り組む。
4. J・A自動車事業の収支改善			
(1)取扱台数の拡大	2,750台	1,465台	衝突被害軽減ブレーキを装備した長野県限定車の取扱いにより営業車拡販に努めた。今後、県下統一モーターキャンペーンの展開により系統自動車事業の強化をはかる。
5. 生活事業取扱強化			
(1)推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員6,500戸 新規会員1,000戸	おまかせ会員6,076戸 新規会員2,000戸	休止会員への再開促進、『県警シニアサポート制度』への参加、地域版タブロイド紙へのPR記事・広告掲載により戸数維持・新規獲得に努めた。引き続きJ・Aと連携し戸数確保に努める。
(2)虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	9,100件 (シェア34%)	4,080件 (8月末34%)	小規模葬ニーズへの対応等に努め、施行件数確保に努めた。ネット広告の充実等PRを強化し引き続き件数確保に努める。
(3)J・Aとの連携強化による家庭菜新規戸数拡大	500戸	58戸	新規獲得キャンペーン等により戸数拡大に努めたが、配置戸数は高齢化等により減少傾向にある。今後モJ・Aと連携し戸数の確保に取り組む。

コープデリ連合会との産地研修・交流会を実施



ブドウの圃場見学

J A全農長野営業課は、10月7日(月)～8日(火)に当課の重点実需者であるコープデリ連合会と「産直」産地に指定されているJ A中野市との研修・交流会を実施しました。

「産直」産地とは、①生産地、生産者、生産・流通方法が明確であること、②記録・点検・検査による検証システムがあること、③持続可能な生産と環境に考慮した事業を推進すること、④生産地と生産者団体との自立・対等を基礎としたパートナーシップを確立すること、⑤コープデリの組合員と生産者との多面的な交流を推進すること、を基本としています。今回は、コープデリ連合会からコープながの太田栄一理事長を視察団長に10名の参加があり、J A中野市からも望月隆組合長をはじめとした職員の皆さん、生産者の方含めて11名に参加いただいたの開催となりました。

研修会では、果実(ブドウ・リンゴ)の圃場ときのこ施設で、栽培から梱包までを、選果場では選果から出荷を見学していただき、商品が届くまでの物

語を知っていただくことができました。また、商品購入後の保存方法・調理方法の学習会や、昼食では果実・きのこを使ったアイデア豊富な料理をお召し上がりいただき、コープデリ連合会の組合員の皆様に長野県農産物の魅力を知っていただく良い機会になりました。

県袋2008のえのきたけはどう違うのですか」など興味の高さが伺えました。参加者全員が熱心にJ A中野市の農産物の魅力について勉強し、現場を確認でき、とても有意義であった、と感謝の言葉もいただきました。

今後、参加された代表者が報告レポートを作成し、コープデリ連合会の組合員の皆様に情報発信していただけたこととです。営業課では、今後こうした取組みを通じ、実需者と産地との連携強化を図り、より良い関係作りに努めていきます。



きのこ施設の見学



きのこの調理・保存方法などを説明

松本山雅FCホームゲームで「J A全農長野デー」



信州の花フォトスポット



フラワーアレンジメント教室



アスリート鍋の振る舞い

© 松本山雅 FC

J A全農長野は9月29日(日)、松本平広域総合球技場「サンプロアルウィン」で行われたJ 1第27節松本山雅FC対F C東京戦で「J A全農長野デー」を開催しました。

県産農畜産物のPRと全農長野の事業を身近に感じてもらおうと、スタジアム横のファンパークでは「スポーツと食のトークショー」「フラワーアレンジメント教室」「オリジナルレシピ・アスリート鍋」「アスリートおにぎり」の振る舞い、スタジアム内では「シャインマスカットの振る舞い」「リンゴ数当てクイズ」「信州の花フォトスポット」アウェイ入場口での「きのこプレゼント」と、盛りだくさんの内容でした。

県産レタスを使った「カットレタス」を販売

J A全農長野大阪販売事務所は、神戸神戸青果(株)を通じて取引きをさせていただいている、カット野菜製造・販売を手掛ける(株)清浄野菜普及研究所にてパッケージに三ツ山マークを入れたカットレタスを、京阪神地区で販売しました。

(株)清浄野菜普及研究所は同商品を、J A塩尻市、J A長野八ヶ岳川上支所のレタスを産地リレーしながら100% J A系統で供給しており、8月13日より京阪神地区のK O H Y O、ピーコック、マックスバリュで販売されています。この商品は、「店頭で販売されている本県産レタスをカットでも買える」というコンセプトを基に、商品化に至りました。

大阪販売事務所では次年度に向け、時期別の増量フェアや消費宣伝などを提案し、中期3カ年計画にもある業務加工業者と連携した販売企画を積極的に実施し、魅力ある系統販売に繋げて参ります。



三ツ山マーク入りのカットレタスパッケージ

「アルプスロードはたSS」に 山雅デザイン洗車機登場！

JA松本ハイランド管内の協同経営SS「アルプスロードはたSS」に、松本山雅FCデザインの洗車機が登場しました。ドライブスルー洗車機の側面に、松本山雅FC・JA松本ハイランド・JA全農長野のロゴマークがデザインされています。

波田地区は地域を挙げて松本山雅FCを応援しており、商店街の入り口にある同SSの洗車機デザインは、地域とサポーターに、JAとチームを広くPRします。

この洗車機は、撥水洗車を中心に豊富なオプションメニューをそろえており、融雪剤等で汚れた車の下回り洗浄ができます。また、クレジットカードや法人カードでの支払いが可能でTカードを使用するとTカードのポイントも貯まります。



アルプスロードはたSS
住所／松本市波田4417 電話番号／0263-92-3413
営業時間／【4月～10月】7:30～19:00(火曜日は19:30まで)
【11月～3月】平日・土曜日 7:30～19:00
祝日・日曜日／8:00～18:30

又、お得なプリペイドカード販売もしております。
皆様のご来店を心よりお待ちしております。

第2回 SSマネージャー全体会議

JA全農長野SS協同経営課は10月9日(水)、県下各地の協同経営SSマネージャーが一堂に会する今年度2回目の「SSマネージャー全体会議」を開催しました。会議の冒頭で、池田洋一生活部長より今年度上期の実績報告と、「下期はお客様に選ばれる店舗づくりの展開を念頭に置いてSS業務に励んでほしい」と挨拶がありました。また、2018JXTG全国優秀SS表彰制度において、JAみなみ信州カリスたかぎSSが見事総合賞に輝いたことに対し、改めて加藤敬至マネージャーに敬意を表し表彰を行いました。

会議では、統一キャンペーンの確認と計画的な有給休暇取得、消費税増税後の経費処理の確認をしました。特にSS業務には常にリスクがつきものであり、コンプライアンス関係では、過去の事例も踏まえながらマネージャーを中心に全スタッフへのコンプライアンス



実績報告をする池田部長



カリスたかぎSSの加藤マネージャー(左)と池田部長

スの意識づけの徹底もお願いしました。
下期も組合員はじめお客様の利便性向上を念頭に置き、更なるSS運営強化を図ります。

JA全農長野の事業現況

令和元年度9月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

区分	部門	実績	計画比	前年比
生産振興部計	野菜種苗センター	125	88	89
	米	9,034	99	106
	果	16,249	94	92
	野菜花き	47,130	95	94
生産販売部計	きのこ	7,440	103	111
	営業	7,604	92	101
	包装資材	4,572	97	106
	生産資材	5,647	106	97
生産購買部計	農業機械	4,583	113	111
	施設住宅	3,909	157	255
	畜産	6,524	106	98
	三岳牧場	163	116	115
畜産酪農部計	SPF繁殖センター	152	101	100
	酪農	9,657	98	98
	ハケ岳牧場	131	98	103
	燃料・ホームエネルギー	11,932	105	100
生活部計	S S 協 同 経 営	5,587	101	96
	生 活	5,943	99	100
	生活部計	23,461	102	99
	長野県本部計	146,380	99	100

(内部販売高含む)

編集後記

台風19号は、県内に記録的な大雨をもたらし、河川が決壊し、家屋への浸水被害、収穫時期を目の前にしたりんご・米、強風による果実の落下など被害は甚大なものとなりました。また、農地にも大量の土砂が流れ込み、次年度以降の農作物生産にも大きな影響を与えることとなりそうです。10月18日現在では、被害総額1,297億円・農業関係88億円との概算数値が報道されていますが、更に被害額の拡大は必至とのこと。被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

11月の動き

10月28日(月)～11月24日(日)	大学生協事業連合 「晩秋の美味しいおすすめメニュー」 信州産きのこあんかけそば・うどん販売 北海道・東北・関東・東海エリア102校 (191カ所)	きのこ課
11月4日(月・振休)	文化放送「浜祭」 シナノゴールド販促イベント 東京・浜松町	果実課
11月11日(月)	おいしい信州ふーど 「きのこ食育授業」 麻績村立麻績小学校	総務広報課・きのこ課
11月23日(土・祝)	OBCラジオまつり 10万人のふれあい広場2019 りんご即売会 大阪・大阪城公園	果実課
実施中～11月30日(土)	長野県JA産きのこキャンペーン 「秋はきのこdeコーデ」	きのこ課
実施中～12月31日(火)	長野県産新米 キャッシュバックキャンペーン	米穀課

11月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
11月 7日(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	新米
11月11日(月) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	長野県きのこの日
11月22日(金) 9:05～13:00	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい「長野県りんごの日」特番	りんご
11月27日(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「暮らしの応援団」	果実課出演
毎週火曜日 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	信州の牛乳・乳製品に関する様々な情報をお届け。リスナープレゼントもあります。

ワールドカップラグビーが熱い！日本代表がアイスランド・スコットランド・サモア・ロシアを破り、予選リーグ全勝で初のベスト8入りをしました。決勝トーナメントの世界レベルの対戦にも目が離せないですね。また、大相撲11月場所が10日に初日となり、郷土の御嶽海関に大きな期待をし、元気をもらいたいです！

(Y)

謹んで台風19号災害の

お見舞いを申し上げます

このたびの台風19号災害により

被害を受けられた皆様に

心からお見舞い申し上げます。

令和元年十月

全国農業協同組合連合会長野県本部



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

